

▼ミオブロック静注 [注] <製造中止>

【重要度】★★★【透析患者には投与禁忌】 【一般製剤名】パンクロニウム臭化物 (U) pancuronium bromide 【分類】非脱分極型麻酔用筋弛緩剤

【単位】▼4mg/A [2mL]

【用法・用量】初回0.08mg/kg、術中必要に応じて0.02～0.04mg/kg追加

【透析患者への投与方法】主として腎から排泄されるため排泄遅延によって作用が遷延するため禁忌 (1) 【その他の報告】GFR<10mL/minでは避ける (3)

【保存期CKD患者への投与方法】Cr<50mL/min:常用量の75～100% (5) GFR 10～50mL/min:50%に減量、GFR<10mL/min:使用を避ける (3,12) 【その他の報告】重篤な腎不全患者では腎機能正常者に比し有意にクリアランスが低下する (McLeod K, et al: Br J Anaesth 48: 341-345,1976)

【特徴】非脱分極性神経筋弛緩剤

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー様症状、遅延性無呼吸など

【吸収】吸収されない (11)

【代謝】3-OH体、17-OH体、3, 17-OH体に代謝される。パンクロニウムのED50は0.041mg/kg、3-OH体のED50は0.082mg/kg、17-OH体のED50は2.0mg/kg、3, 17-OH体のED50は2.15mg/kgと代謝物に活性がある。3-OH体、17-OH体、の効果持続時間はパンクロニウムと同等だが、3, 17-OH体の作用時間が短い (Miller RD, et al: J Pharmacol Exp Ther 207: 539-543,1978) 代謝の寄与は低い (U)

【排泄】尿中未変化体排泄率37～44% (1) 30～40% (12) 80% (U) 最大25% (11) 重篤な腎不全患者では腎機能正常者に比し有意にクリアランスが低下する (McLeod K, et al: Br J Anaesth 48: 341-345,1976) 胆汁排泄は5～30% (11) 【CL】57.6～187.3mL/min (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 胆汁うっ滞では健常者の全身CLである123mL/minに比し半分の59mL/minになる (Somogyi AA, et al: Br J Anaesth 49: 1103-1108,1977) 腎不全で低下する (11)

【t1/2】α相: 7～13min (1) 4min (11) 10～13min (U) β相: 108～147min (1) 32min (11) 1.7～2.2hr (12) 89～161min (U) t1/2β 89.5～161.5min (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 胆汁うっ滞では健常者のt1/2である132minに比し倍の270minに延長する (Somogyi AA, et al: Br J Anaesth 49: 1103-1108,1977) パンクロニウム110min、3-OH体68min、17-OH体73min、3, 17-OH体71min (Miller RD, et al: J Pharmacol Exp Ther 207: 539-543,1978)

【腎不全患者のt1/2】4.3～8.2hr (12)

【蛋白結合率】30% (11) 低い (U)

【Vd】中心コンパートメントのVdは0.063～0.146L/kg (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 0.21～0.37L/kg (11)

【分布】重篤な腎不全患者では中心コンパートメントへの移行が腎機能正常者に比し有意に上昇する (McLeod K, et al: Br J Anaesth 48: 341-345,1976)

【MW】732.67

【透析性】ある程度透析されると思われる (5)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない。0.218μg/mL以下で神経筋遮断作用は消失する (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 0.2μg/mL程度が有効濃度 (11) 【O/W係数】低い (11)

【効果発現時間】投与30～180秒 (1)

【効果持続時間】初回量で約60分、追加投与時で約40分(1)筋麻痺が開始し体内から45.4%除去され、20%まで回復するのに83.4min要し、そのときの血漿濃度は0.169μg/mL (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976)

【更新日】20140326

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。